



青少年赤十字通信

2008. 5. 22

日本赤十字社新潟県支部
新潟県青少年赤十字指導者協議会

1. ご希望のあった加盟校に募金箱をお送りしています。

(1) 青少年赤十字活動の一環として、ミャンマー・サイクロン災害被災者救援金および中国大地震救援金の募金活動をおこないたいという連絡を多くいただいております。当支部といたしましては、ご希望のあった加盟校に募金箱をお送りしていますので、活動に参加する場合は、担当（小原）までメールにてご連絡ください。



- ※ 募金箱の大きさがわかるように、ワッペンを置いてあります。
- ※ 募金箱には、鍵が付いています。

(2) 街頭(校外)で募金活動をおこなう場合は、下記のとおり実施してください。

①まず、いつ、どこで、何時から何時まで、何のための募金をするのか、話し合って決めましょう！決まつたら、募金箱に「何のための募金か」を一目でわかるように必ず書いてください。

②街頭募金をする許可をもらおう！

- ・路上（公道）…所管の警察署へ事前に道路使用許可を得る必要があります。

- ・駅構内…駅長の許可(駅敷地使用の申請)をもらう必要があります。
- ・私有地…その土地の持ち主の方や、周りの家に事前に許可をもらいましょう。

③青少年赤十字ワッペンもしくは、バッジを必ずつけましょう！募金している団体を明らかにすることは、大切なことです。

④活動の後には、ゴミなどはもちかえり、キレイにして帰りましょう。

⑤絶対に忘れてはならないのは、『感謝の気持ち』です。募金をしてくれた方には、照れくさくても、「ありがとうございました」の一言を忘れないように心がけましょう。

(3) 集まったお金について

募金箱と一緒に振込用紙をお送りしますので、そちらを使って当支部へ送金ください。必ず通信欄に救援金の名称を記入してください。

＜救援金の名称＞

「ミャンマー・サイクロン災害救援金」

「中国大地震救援金」

お送りいただいた救援金は、日赤本社を通じて、被災した地域のために使われます。

(4) 使い終わった募金箱について

お送りした募金箱は、今後、青少年赤十字活動として募金をおこなう際にご活用ください。(返却の必要はありません)

2. DVD「生きる力と思いやりを育んで」をお送りします。

赤十字活動や青少年赤十字の活動事例を描いたDVDです。研修会等にご利用ください。

3. 青少年赤十字バッジ・ワッペン、資料等が無料になりました。

従来、新1年生以外の生徒に有償で配布しておりました「青少年赤十字バッジ・ワッペン」等を無償でお送りすることといたしました。紛失や転入などで、バッジやワッペンが必要な際は、お気軽にご連絡ください。

4. みなさんの学校の青少年赤十字活動を広報させてください。

みなさんの学校で行った青少年赤十字活動の様子を、お送りください。お送りいただいた記事は、当支部ホームページや広報誌などに掲載させていただきます。[簡単な記事と写真データをメールでお送りください。]

5. 加盟校への連絡、情報をメールで配信する準備を進めています。

加盟校のみなさんへの連絡、情報をメールで配信できるよう準備を進めています。登録票にご記入いただきましたメールアドレスに今後配信を予定しておりますので、メールアドレスに変更があった際はご連絡ください。

何でもお気軽にお問い合わせください！！

<担当> 日本赤十字社新潟県支部 組織振興課 小原(おばら)

TEL 025-231-3121

FAX 025-231-3122

MAIL d-obara@niigata.jrc.or.jp